

隠岐ジオパーク戦略会議

事業名 ● ツアーコーディネーター養成による新たな観光形態と収入機会の創出

事業概要

申請中の世界ジオパークネットワーク登録に向けて、隠岐ジオパークの運営で中核的役割を担う組織および人材の育成と、組織の理念、活動状況等を情報開示するとともに継続的な活動を担保するための寄附商品の開発等を通じたファンドレイジングへの取り組みを実施する。隠岐ジオパークガイド倶楽部を設立し、ガイドのスキルアップと収入機会の創出を図る。

組織体制

隠岐ジオパーク戦略会議

風待ち海道倶楽部

平成15年に設立し、隠岐ならではの歴史・文化・自然を活かした地域づくりのため、官民一体となった取り組みを進めている。これまで、隠岐のガイドブック、ガイドマップの作成やイベントを開催し、隠岐ジオパーク活動の中心的役割を担っている。

隠岐の島町教育委員会

島根県および隠岐4ヶ町村の行政、経済団体などから構成される隠岐ジオパーク推進協議会の事務局を置いている。

隠岐自然倶楽部

隠岐地方全域を対象として、各自然分野の調査研究や自然環境の保全・保護とそれらを活用したエコツアーガイドに取り組んでいる。島根県や環境省との協働事業により、隠岐の自然を守るための参考書の作成や、遊歩道の看板整備、オキサンショウウオの調査、外来種調査、カラスバト調査、海岸ゴミ清掃事業なども行っている。

島後とぎの会

西郷港周辺を主要なフィールドとして、「語り部」や「まち歩きガイド」などに取り組む任意団体。当初は旅館やホテルに出向き隠岐の歴史や文化をお話する新しい観光サービスの提供を行っていたが近年は西郷港周辺の町歩きや観光ガイドも行っており、専門性の高い歴史ガイドやジオパークガイドとして観光振興の一翼を担っている。

株式会社ワコムアイティ

1993年に島根県企業立地促進条例認定企業として創業。システムインテグレーションを中核として、タブレットを利用したペンソフトウェアの開発や多様なコンテンツ制作、製品開発等に取り組む。近年は話題のRubyによるシステム開発も行ない、農業や環境、医療などの分野にも進出している。特に養牛カメラ等は注目を集める。社是は「喜びの創造」。

隠岐汽船株式会社

隠岐諸島と本土を結ぶカーフェリーおよび高速船航路を運営している隠岐の海運会社。最盛期には本土側が境港・七類・加賀の3港、隠岐側が西郷・別府・浦郷・菱浦・来居5港でフェリー3隻と超高速船2隻の体制であったが、現在は加賀港と浦郷港の航路は無くなりフェリー3隻、超高速船1隻で運航している。

社団法人隠岐の島町観光協会

以前は任意団体としての隠岐の島町観光協会であったが、2007年（平成19年）に、社団法人格を取得し、隠岐の島町の観光振興を担うために再スタートを切った。現在は、有償ガイド養成講座、体験型観光商品の企画等に取り組んでいる。

株式会社藤井基礎設計事務所

技術力を企業成長の原点と位置づけ、近年は多様な事業展開を図っている。隠岐の島では、里山・里海の再生を目的とした木質バイオマスの実験プラント運営、隠岐ジオパークの推進とサポートなどに取り組むとともに、地域住民組織と一体となって地域振興をサポートする。



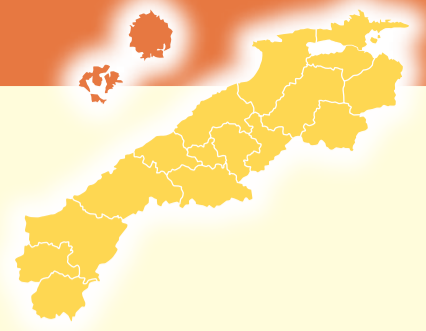
[連絡先]

隠岐ジオパーク戦略会議

TEL 08512-3-1005

Mail: geopark-sk@mirror.ocn.ne.jp

URL <http://blog.canpan.info/okigeo/>



隠岐ジオパーク戦略会議

事業名 ● ツアーコーディネーター養成による新たな観光形態と収入機会の創出

事業概要①

1. 自主財源確立に資する事業

- ① ソーシャルアプリ（寄付付き商品として）の開発、販売
 - ・ 寄付付きソーシャルアプリ（隠岐の神社図鑑：仮称）開発、販売
 - ・ 金額のうち一定額をジオパーク内資源の保全活動にのみ充当する
- ② ファンドレイジングに関する勉強会の開催
- ③ 会計情報等の公開
 - ・ 組織運営に関する会計情報等適正な運営状況を県のポータルサイトやCanpanブログ等を活用し公開する。
- ④ 隠岐ジオパークファン倶楽部（仮称）の会員募集
 - ・ これまで隠岐に来たことのある顧客を対象として、「隠岐ジオパークファン倶楽部」会員を募集する
 - ・ 会員には会報誌を発行し、隠岐ジオパークの様子を定期的に情報発信する



ソーシャルアプリ開発イメージ図



カメラ機能と連動し、本アプリで撮影した写真は「隠岐ジオパークフォルダ（仮称）」等に格納され、隠岐訪問後も振り返りができるように配慮すること。動画等はYouTubeを活用することとする。
 隠岐は必ずしもネットワーク環境が整備されておらず、オフラインでも楽しめるようにダウンロードする段階である程度のコンテンツはアプリ内に格納しておくこと。
 多言語への対応ができる基盤とし、順次追加対応できる設計にすること。
 Facebook、Twitter等ソーシャル・メディアとの連動する機能を取り入れること。

自然・生態系の詳細画面には「寄付」へと誘導する仕組みを導入すること。神社・文化の詳細画面ではGPSを利用した「位置ゲーム」などを導入すること（位置ゲームは課金後の開放機能とする）。
 その他魅力的な提案は協議の上追加等検討する。

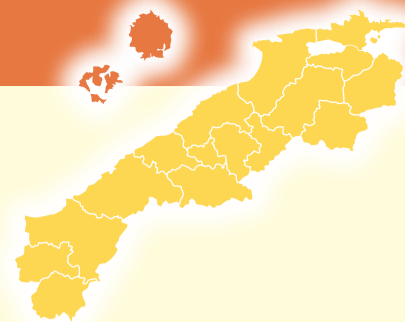
スマートフォン、タブレット端末アプリを開発し、提供する。
 OSはiOSおよびAndroidに対応するものとする。アプリと連動するデータサーバは別途指示する。

アプリは基本的に無料でのダウンロードとするが、無料版を「Lite版」として提供する。「完全版」は課金することで一部機能を開放（位置ゲーム、広告消し）することでコンテンツの差別化を図る。

コンテンツ内には、「隠岐ジオパークの資源・自然保護」に使用を限定することを明示した上で、寄付行為へとつなげる動線を確保する。

著作権は隠岐ジオパーク戦略会議に属するものとする。また著作人格権は行使しないものとする。

本仕様書に明記のない事項については別途両方で協議してすすめる。



隠岐ジオパーク戦略会議

事業名 ● ツアーコーディネーター養成による新たな観光形態と収入機会の創出

事業概要②

2. ガイド協会機能の育成に資する事業

① ツアープログラムの造成

- ・ 旅行代理店を交えた魅力的なプログラム造成、旅行者ニーズ等についての研究会を開催する（複数回実施）
- ・ 四季に応じた体験学習型メニュー造成
- ・ 雨天時に楽しめるメニュー造成

② 認定ガイド制度の導入

- ・ 知識、ガイドスキル（コミュニケーションスキル）等に基づく有償ガイドの基準を検討
- ・ 評価および判定基準を検討する
- ・ 認定ガイドのプログラムの検討
- ・ 有償ガイドの育成

③ ソーシャルメディアを活用した情報発信

- ・ Facebook、Twitter等ソーシャルメディアを活用した情報発信を行う
- ・ 共感、支援の環を広げるためのツールとして活用を図る

